

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	My Stepジュニア谷六教室		
○保護者評価実施期間	R8年2月1日		～ R8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	64	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	R8年2月1日		～ R8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの状況やニーズに応じた個別支援計画を作成し、計画に沿った支援を丁寧に実施していること。	アセスメントや日々の支援記録を踏まえて個別支援計画を作成し、職員間で共有しながら支援を行っている。保護者評価においても、個別支援計画の作成や支援内容の説明について高い評価が得られている。	今後もアセスメント、モニタリング、記録の積み重ねを大切にしながら、子どもの発達段階や家庭状況に応じた、よりきめ細かな支援につなげていく。
2	保護者との情報共有や相談対応を丁寧にいき、安心して利用できる関係づくりができてきていること。	日頃から子どもの様子や課題について保護者と共有し、必要に応じて相談や面談に対応している。保護者アンケートでも、相談体制、意思疎通、共感的な支援、満足度の項目で高い評価が得られている。	相談しやすい雰囲気づくりを継続するとともに、保護者の不安や悩みに対して、より早く分かりやすく応えられるよう支援体制を充実させていく。
3	事業所内の環境整備や安全管理に配慮し、子どもが安心して通所できる支援体制を整えていること。	生活空間の構造化、清潔保持、個人情報の取扱い、事故防止や感染症対応等について、日常的な確認と職員間での共有を行っている。保護者評価でも、安心感をもって通所しているか、支援に満足しているかの項目で高い評価が得られている。	避難訓練や安全計画、非常時の対応について、保護者への周知も含めてより分かりやすく伝え、安心感のさらなる向上につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもの交流や地域活動の機会が十分とは言えないこと。	保護者アンケートでは、地域交流に関する項目で「いいえ」や「わからない」が多く、実際の取組内容や機会が保護者に十分伝わっていない、または機会自体が限られていることが要因と考えられる。	地域資源や地域行事に関する情報収集を進め、教室として無理のない形で地域との関わりの機会を検討する。また、実施している内容があれば保護者にも分かりやすく周知していく。
2	家族支援や保護者同士の交流支援が十分とは言えないこと。	保護者アンケートでは、ペアレント・トレーニングや保護者同士の交流に関する項目で評価が分かれており、支援の機会が限定的であることや、実施内容が伝わりにくいことが要因と考えられる。	保護者向けの情報提供や助言の機会を整理し、必要に応じて保護者同士が交流できる場や情報交換の機会について検討する。
3	非常時対応や一部の支援内容について、保護者にとって分かりにくい項目があること。	保護者アンケートでは、非常災害時の訓練、安全確保の周知、事故発生時の対応、また個別支援計画における地域支援等について「わからない」との回答が一定数みられた。説明内容や周知方法が十分でない可能性がある。	個別支援計画の説明時に、本人支援・家族支援・地域支援の内容をより分かりやすく伝えるとともに、安全計画、訓練、非常時対応についても文書や口頭での周知を工夫していく。